

ケーブル移設工 作業手順



内 容	留 意 事 項
作業打ち合わせ(KY活動) 作業内容、人員の確認 保護具の点検 使用機械、工具の点検	安全ミーティング日報による 指示書の内容確認
飛散防止ネットを設置した後、カッターライン内のコンクリートシールを プレーカー、ピック等を使用して、はつり取る。 コンプレッサーを使用し清掃する。 廃材はトラックに積み込み、所定の処分場に運搬し、処理を依頼する。	はつりがらが本線または、橋梁下へ落下しない様に十分 注意する。 作業に合った保護具を使用する。
ハツリ殻を、飛散しないようにダンプに積み込む。	ダンプで発生材を運搬時に飛散シートを設置して行う。
トレーラーで搬入した重機を降ろし、重機にて施工箇所の掘削を行う。 掘削後は、スコップ、ジョレンを使い均一に不ならす。又、掘削後の土 は、ダンプにて所定の場所へ搬出する。この時、車輛誘導を確実にを行う。 掘削した後の掘削床はプレートコンパクターを使用し転圧を行う。 埋め戻し時、ケーブルに損傷を与えないように行う。 転圧をする時は、プレートコンパクターを使用し転圧を行う。	有資格者による機械作業を行う。 重機、ダンプの誘導を確実にを行う。 ダンプへの過積載に十分注意をする。 地下埋設物に損傷を与えないように注意して掘削する。
施行箇所の埋め戻しが終了したら、10mピッチにエラストイトを設置し、 厚さ10cmでコンクリートを打設します。この時、バイブレーターをしっかりと 掛けること。	ミキサー車等の誘導を確実にを行う。 コンクリートは、工場出荷時間より1.5時間以上経過した物は、 使用してはならない。
使用した道具、機材、余った材料等は、トラックに積み込み、最後に 竹ぼうきなどで清掃する。	使用した道具等は、現場に忘れ物が無いように確認する。 はつり屑が無い様に、綺麗に清掃する。
冬期の施工の場合は、シート等の養生処置を行う。 終礼の実施	養生シートを使用する場合は、風等による飛散を防止する。 安全ミーティング日報による

注意事項

機械作業は、有資格者が操作を行う。
作業に合った保護具の使用を行う。
撤去の際は、指などを挟まないように注意する。
一般車への飛散防止は確実にを行う。
重量物を持つ場合は、姿勢に充分注意をし無理をしない。
廃材処理にはマニフェストを必ず使用する。
移動前に積載物の落下防止対策を実施し、複数人で確認する。
車両を後退させる際は誘導員と打合せ実施後移動する。